

Möbius loop

谷内春子 TANIUCHI Haruko

2021年03月03日(水) - 03月13日(土)

OPEN pm 12-7 水・木・金・土曜(日・月・火曜休廊)

谷内春子は自作を語る時「景」という言葉を使います。彼女の言う「景」は思考の中に生まれる抽象化された景色です。認識というフィルターを通して得られた外界のイメージを集め再構成することで、谷内は新たな風景を生みだします。そうして生まれた作品の前に立つと、目眩のような感覚に襲われることがあります。計算された線と色の配置によって三次元の空間が立ち上がり、遙か上空から地上の景色を見ているような感覚。膠彩画の魅力と共にご覧いただければ幸いです。

また本展の関連企画として、谷内春子による《soft hope》シリーズ作品を当オンラインショップにて同時発売します。

+1art

谷内春子

TANIUCHI Haruko



『作庭記』の記述にある「石を立てる」ことから見立てを始めるその造形法をてがかりに、画面の中に様々な風景を構成する「景」をテーマに制作してきた。身近なものを風景へと見立てる「景」は、螺旋階段から見える景色のように、どれも異なるようで繋がっている。景の思考をめぐる感覚はそのようなものに近い。それは「今、ここ」の見えているものから「ここではないどこか」へと希望を見出そうとする思考ともいえるかもしれない。今の状況から地続きで違う曲面へと向かうその思考の回廊を「メビウスの輪」に擬えることにした。



宇宙の庭

379×455mm 2020 紙本着彩 (Photo : MUGYUDA Hyogo)

| 展示作品 |

絵画・紙本 / 絹本膠彩

1818×1818 mm 2点、
909×552 mm (30号P) 1点
455×379 mm (8号F) 1点
他 小品数点



infinity

1818x1818mm 2021
麻紙、岩絵具、黒箔、銀箔

1986 京都市生まれ
2015 京都市立芸術大学大学院博士(後期)課程美術研究科絵画専攻日本画領域修士
2016-2019 嵯峨美術短期大学美術学科専任講師
2019-京都市立芸術大学日本画専任講師

個展

2020 「思考する風景」(ギャラリー恵風/京都)
2018 「〈山〉について」(ギャラリー恵風/京都)
2016 「点景」(ギャラリー恵風/京都)
2013 「うたたねの眺め」(数寄和・数寄和大津/東京・滋賀)
2012 「草原」(ギャラリー恵風/京都)

主なグループ展

2020 「透明」3人展(2kwgallery/大津)
2020 「日本画・絵画論」3人展、企画:潮江宏三(Art Apace-MEISEI/京都)
2020 「見えない世界」マララ基金チャリティーオークション(+1 art/大阪)
2019 「火星のはかりかた」3人展(ポルタギャラリー華/京都)
2019 京都日本画新展in二条城(二条城 二の丸御殿台所・御清所)
2019 「小さいわたしたち」マララ基金チャリティーオークション(+1 art/大阪)
2019 シェル美術館 入選 (国立新美術館/東京)
2018 Kyoto Art for Tomorrow 京都府新鋭選抜展(京都文化博物館/京都)(同21年)
2018 「SAGA TRIALOGUE」三人展(嵯峨美術大学アートスペース嵯峨)
2017 「内接・外接-soft touch」二人展(+1 art/大阪)
2017 「ART 町家 STAY」ーハレとケー(庵・筋屋町町家/京都)
2016 琳派FOREVER京都府新鋭選抜展NHK京都放送局長賞(京都文化博物館/京都)
2016 「水と音の眺め」(世木の里とまり木/京都府南丹市)
2015 第2回続「京都日本画新展」(同16年、19年、21年)
2015 第8回清洲市はるひ絵画トリエンナーレ入選
2014 天若湖アートプロジェクト水の杜展(京都府南丹市)(同15年)
2012 第30回上野の森美術館大賞展入選
2012 碧い石見の芸術祭 美術大学選抜日本画展(同13年)
2012 第38回京都春季創画展入選(以降毎年)
2012 第39回創画展入選(以降毎年)
2012 ギャラリーへ行こう2012」数寄和賞(数寄和/東京・滋賀)

プロジェクト

2017 大覚寺「蓮華院」天井絵制作 参加
2016 お披露目会「水と音の眺め」開催(世木の里とまり木/南丹市)
2015-2016 天若湖アートプロジェクト襖絵プロジェクトにて襖絵制作

受賞

2016 琳派FOREVER新鋭選抜展NHK京都放送局長賞
2014 京都春季創画展春季展賞
2012 「ギャラリーへ行こう2012」数寄和賞
2010 京都銀行「美術研究支援制度」選定 作品買上